



Model N 2.0

訪れた人は、2度驚くことになる。



浮遊するファサード

四角い家から口の字型に1mも飛び出したPlusMeファサード。訪れた人を出迎える広大な玄関ポーチは、建物から突き出し、浮遊しているかのようなデザインに。

誇張された存在感は消し、存在価値のみを残す。住宅業界の常識を覆す、類を見ないデザインを実現しました。



2.9メートルの高い天井

佐藤オオキ氏は常々言う。天井高最強。高い天井には説明のいらぬ開放感があり、そしてそこで時を過ごす人の自己肯定感も高まる。吹き抜けを作れば天井高はいくらでも高くすることができるが、そのためにはいくつかの価値を捨てなければダメだった。

それではプロではない。空調効率を下げない。2階の間取りに制限をかけない。最高レベルの耐震性を持たせる。コストダウン。

なのに圧倒的な開放感。

この5つを守りながら、木造住宅標準最高2.9mを実現した。人を招いた時、家族が集まる時、PlusMeオーナーはこの家に誇りを感じるようになる。

